

オオバに発生するアザミウマ類について

農業研究部・病害虫対策チーム

1. 研究の背景

オオバ栽培では夏場の需要期にアザミウマ類による被害が多発し、廃棄による減収などが深刻な問題となっている。そこで、発生種に対する適切な防除対策を講じるため、令和3年～5年に大分市で発生実態調査を行い、問題となるアザミウマ類の発生種を明らかとした。

2. 研究成果の内容・普及のポイント

オオバに被害をもたらすアザミウマ類として、クロゲハナアザミウマ、ミナミキイロアザミウマ及びモトジロアザミウマの3種を確認した。また3種のアザミウマ類は種毎に食害痕が異なることが明らかとなった。

クロゲハナアザミウマ



葉の色抜け

図1 クロゲハナアザミウマと食害痕

ミナミキイロアザミウマ



葉の隆起、奇形

図2 ミナミキイロアザミウマと食害痕

モトジロアザミウマ



葉の掠れ

図3 モトジロアザミウマと食害痕

3. 期待される効果

注：図は全て農業研究部(病害虫対策チーム)原

- ・現地でのアザミウマ類の発生種の特定、種別の防除対策に活用できる。

4. 担当機関連絡先

大分県農林水産研究指導センター農業研究部 病害虫対策チーム
TEL 0974-28-2078
住所：豊後大野市三重町赤嶺2328-8